

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

東北大学記念資料室だより

○ 本学附属図書館特殊文庫の白眉狩野文庫の蒐集者、狩野亨吉は近頃世上にやかましい新紙幣の3人のうち2人までと深い関係がある。新渡部稲造は文久2(1862)年生れの最年長で、狩野はそれより2年若く、夏目金之助はさらにそれより2年若い。狩野は明治31年熊本の第五高等学校の教頭となったが、その時夏目は同校の教授であった。やがて狩野は東京の一高の校長となり約8年間、名校長と称せられ一高の黄金時代を現出する(明31—39)。漱石は五高から英国へ留学させてもらい、帰るや一高講師に拾われて東京帝大講師をも兼ねる。狩野が年若い友人を(大学卒業は漱石は6年もおそい)よく援助したのがよくわかる。漱石が作家として名を成した後、年賀状を廃することにした時、狩野さんのように出さないわけにいかぬ人もあるのでこまる、と弟子に語っている。両者の関係がしのばれるであろう。狩野が京都帝大初代文科大学長に榮転したあと、一高校長の後任者となったのが今まで京都帝大教授であった年長の新渡部である。早く札幌農学校を卒業し米国・独国に留学した国際人への期待は大きかったが、一高の秀才たちは却って狩野前校長の

中に、京都帝大に去った狩野前校長をなお慕って、我等は尊敬する恩師のいます京都へと歩武を進めて戦う、という一節がある。敵地ではあるけれど恩師狩野校長のいますと思えばなつかしい。と歌ったのである。これが新渡部校長の時期に作られたのは明らかであって、当時、日本のシュトルム・ウント・ドランクの時代の秀才の心情が何程かわかるような気がするのである。二種類の紙幣の間にはさまれて、狩野さんはどう感じておられるかと、想像することである。

○ この一高の歌をうたった卒業生の1人田沢龍吉さんと夫人久子さんが本学記念資料室を訪問されたのは7月12日であった。お2人の訪問の目的は「狩野文庫」を観せてもらって、それを死後、泉下の父君「荒井泰治」氏にくわしく報告しようというのであった。荒井泰治氏は仙台藩士の歴々の家の出で、明治の時流に乗じ実業界に成功して44年貴族院議員となり、折しも狩野の親友で初代東北帝大総長となった沢柳政太郎が狩野の蔵書を大学に受入れるに際会し、資金3万円を寄附して、東北大学「狩野文庫」を誕生させた人である。そうして久子さんはその長女で御兄弟中唯一の生存者であり、龍吉さんはその御主人で上述のとおり一高の出身、大学を出てから日本電気に入り日本通信工業の社長をつとめて本年80才悠々閑地を楽しまれる方である。本室はこの本学の偉大なる恩人の御遺族に対し、往年の学資金寄附の公文書をはじめ数々の文書をお見せし、また文庫の全貌を案内し、その目録を進呈した。感慨ひとしおのように見え、また同行された現社長や東北支店長など数名の人々も感銘を口々に語っていた。



狩野 亨吉博士

人格を慕い中には「物が違う」などという者もあったという。

一高と三高とは様々の対校定期戦をおこなって応援合戦も甚だ盛んであった。その一高の応援歌の

文献情報センターセミナーに参加して

整理課逐次刊行物掛 佐 藤 義 則

昭和59年度東京大学文献情報センター・セミナーは、5月21日～7月21日、9月1日～10月12日の延べ15週間にわたって、同センターにおいて開催された。今回は第2回にあたるこのセミナーの目的は、主に学術情報システムに関する基本的知識・技術の習得にある。

文献情報センターは、昭和58年4月に（旧）情報図書館学研究センターを改組・転換して設置されている。設立の趣旨は、学術情報システム構想のフレームワークのもとでの具体的業務への着手にあり、通信ネットワーク技術を前提とした図書館間ネットワークの形成・情報検索システムの開発が日程にあげられている。図書館間ネットワークは、目録システム、雑誌システム、ILLシステムで構成されるが、既に今年度より実験が始められ、来年度から一部の大学に対してサービスが開始される予定である。

セミナーは、このような状況の推移に対応する教育広報活動の一つとして位置付けられるものである。今回の研修員は4名で、その中には私立大学からの参加者も含まれている。講義は、18名の講師が大体2～3回（3回、3.5時間）にわたって担当された。単に実務的な側面にとどまらず、学術情報に関する図書館情報学、情報科学における基礎的理論から、システム分析や文献情報センターシステムの開発の現状など具体的な応用まで多岐にわたるものであり、これからの大学図書館を考えていく際に重要な示唆を与えるものであった。（末尾参照）セミナーでは、講義のほか、見学（国文学研究資料館、千葉大学附属図書館、東京工業大学図書館、図書館情報大学附属図書館、JICST、国際基督教大学附属図書館、国立国会図

書館）と演習（2次情報検索、所在情報検索）およびOJTが行われた。OJTは、ON THE JOB TRAININGの略であるが、業務を行うなかで実習体験的に研修の効果を引き出そうというものであり、文献情報センターが行っている学術雑誌総合目録和文編の編集作業が行われた。このほか、これらの研修活動について毎週報告書の作成・提出（5,000字以上、ワープロによる）が義務づけられており、時間的にも内容的にもかなり厳しいものとなった。また、各研修員のテーマによるレポートの作成と指導も行われた。

今、大学図書館は大きな転換期の中にある。コンピュータ化、ネットワーク化、メディアの変容といった環境の変化にはめざましいものがある中で図書館に求められているのは、単に新たな意匠をまとう事ではなく、「資料」と「利用者」をつなぐという原点に立ち戻っての図書館機能のとらえ直しと活性化であろう。このような重要な時期にあってセミナーを受講できたことは、誠に意義深いものであった。

最後になるが、3か月半にも及ぶ長期に渡って業務から離れるにもかかわらず、快く送りだしてくれた図書館の上司・同僚と、お世話頂いた文献情報センターの皆様感謝し報告とする。

※講義内容（敬称略）

- I. 特別講義：猪瀬博「通信回線の自由化問題」
- II. 基礎理論・技法：長沢雅男「文献情報論」、石田晴久「情報科学基礎論」、長谷部紀元「電算機システム・プログラム言語」、広瀬通孝「システム分析手法」
- III. 文献情報の組織化：石塚英弘「情報検索システム論」、井上如「学術情報システム論」、開原

成 允「医学学術情報システム論」、中山茂「学術情報システム論」、松村多美子「文献情報の組織化」

Ⅳ. 図書館情報システム論：上田修一「文献情報ネットワーク論」、浅野正一郎「文献情報ネットワーク論」、山本毅雄「図書館オートメーシ

ョン論」、松井幸子「図書館オートメーシジョン論」、根岸正光「経営管理論」

Ⅴ. 学術情報システム各論：内藤衛亮「学術情報システム各論」、宮澤彰「学術情報システム各論」、安達淳「学術情報システム各論」

文献情報センターとの懇談会について

文献情報センター（東京大学）は、昭和59年度から全国共同利用施設として改組拡充され、昭和59年12月～60年3月までには地域センター館のうち東京工業大学、名古屋大学、大阪大学と接続をし試行する段階となっている。さらに昭和60年4月には、全国の大学図書館等に対して目録・所在情報サービスを開始する予定となっている。

この度、東北大学では文献情報センターのご好意により標記懇談会を下記日程で開催した。懇談会には学内のほか東北地区国公立大学、高専から100名近い参加者があった。

文献情報センター側からは現在鋭意開発中のセンターシステムについて詳細にわかりやすい説明があり、さらに活発な質疑応答や意見交換が行なわれ、有意義でかつ盛会のうちに終了した。

なお、文献情報センターからの出席者は以下の通りである。

根岸正光助教授

内藤衛亮助教授

宮沢 彰助教授

安達 淳講 師

橋爪宏達助 手

永田浩樹目録情報掛長

渡辺博システム管理掛長

懇談会開催事項

1. 日 時：昭和59年9月14日（金）10時～15時

2. 会 場：附属図書館大視聴覚室

3. 日 程 (受付 9:30)

開 会 10:00

挨拶 東北大学附属図書館長 吉岡 昭彦
東京大学文献情報センター助教授

根岸 正光

文献情報センターシステムの概要について

10:10～11:10

東京大学文献情報センター講師 安達 淳

東北大学の図書館情報処理システム計画について

11:10～12:00

東北大学附属図書館調査研究室研究員

石垣久四郎

一昼 休 み

文献情報センターの目録システムについて

13:30～14:30

東京大学文献情報センター助教授 宮澤 彰

質疑応答 14:30～15:00

閉会挨拶

東北大学附属図書館事務部長 谷本 幹男

昭和58年度・中央図書館利用状況の概要

中央図書館の利用状況について昭和58年度利用統計をとりまとめた。これらのうち主要なものを図表にして次に掲載する。

注：表中の〔 〕内は昭和57年度のデータ。

1 利用対象者数

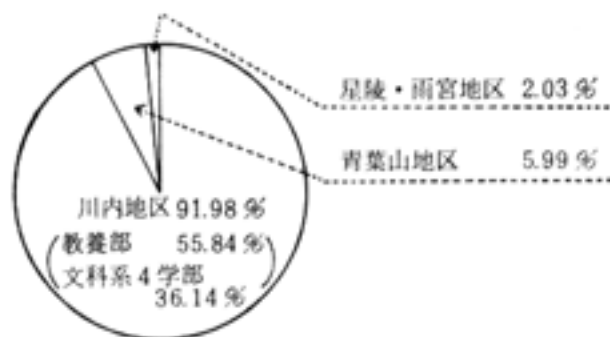
- ・全学総数 18,445人〔18,232人〕
- ・分館（医・北青葉山・工・農学）利用対象者を除く数 8,758人〔8,696人〕
- ・近接部局利用対象者数 7,500人〔7,438人〕

2 入館者数

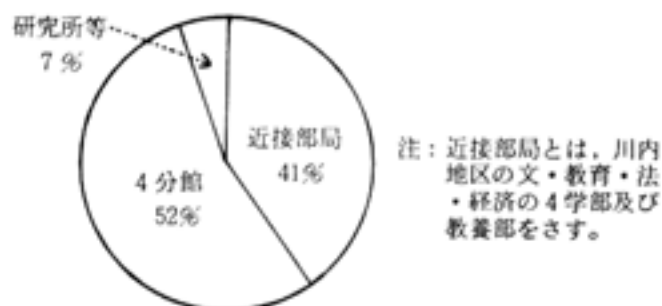
- ・年間総数 474,697人〔468,512人〕
- ・1日平均数 1,487人〔1,457人〕
- ・学生の入館数 433,817人〔422,402人〕

学生・部局別入館者数（入館者実態調査より推計）

2.i 学生・地区別比率（全学生）

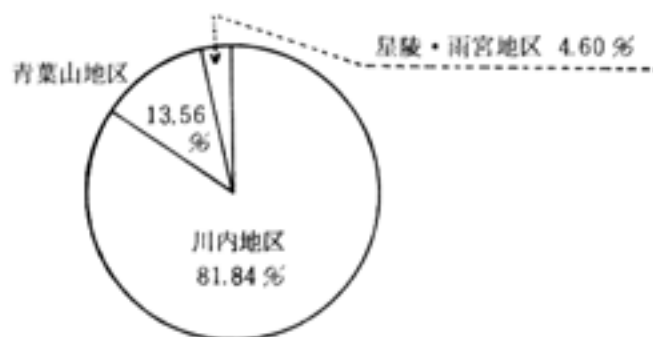


1.i 利用対象者数比率



注：近接部局とは、川内地区の文・教育・法・経済の4学部及び教養部をさす。

2.ii 学生・地区別比率（学部学生）

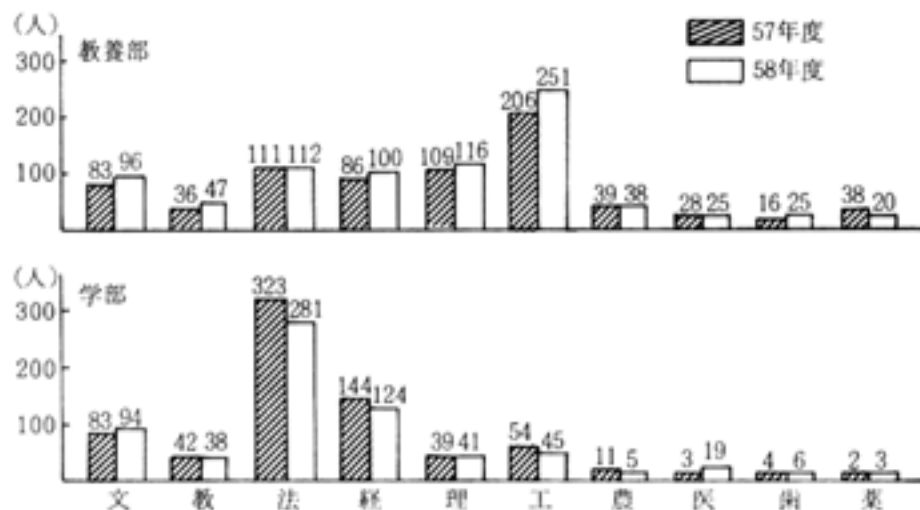


学生・部局別入館者数（入館者実態調査より推計）

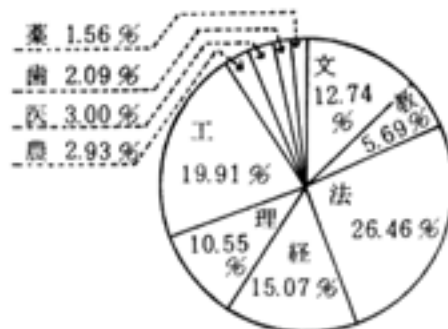
		文	教	法	経	理	工	農	医	歯	薬	計	
		1日平均(人) 在籍1人当(回/年)										1日平均(人)	在籍1人当(回/年)
教養部	1日平均(人)	96	47	112	100	116	251	38	25	25	20	830	50
	在籍1人当(回/年)	76	91	69	55	55	40	33	29	43	35	[752]	[45]
学部	1日平均(人)	94	38	281	124	41	45	5	19	6	3	656	39
	在籍1人当(回/年)	76	74	154	74	20	9	5	11	5	6	[705]	[42]
計	1日平均(人)	190	85	393	224	157	296	43	44	31	23	1,486	44
	在籍1人当(回/年)											[1,457]	[44]

※ 年間開館日数 292日〔290日〕

2.iii 学生・1日平均入館者数



2.iv 学生・部局別比率（教養部を含む）



3 閲覧・貸出冊数（全利用者）

イ）開架閲覧室資料

単位：百冊

主題	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	言語	文学	雑誌	計
閲覧	30	59	70	286	349	30	2	33	174	111	276	1,420
貸出	6	28	21	87	122	21	1	8	7	40	0.4	341

ロ）書庫内資料

単位：百冊

主題	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	言語	文学	雑誌	計
閲覧	7	4	13	11	3.5	2	0.2	2	1	8	49.7	102
貸出	18	35	31	91	8	0.6	1	6	8	26	41	265.6

4 入庫者数

院 生	教 官	計
5,559人 [5,561人]	2,574人 [2,276人]	8,133人 [7,837人]

5 文献複写実績

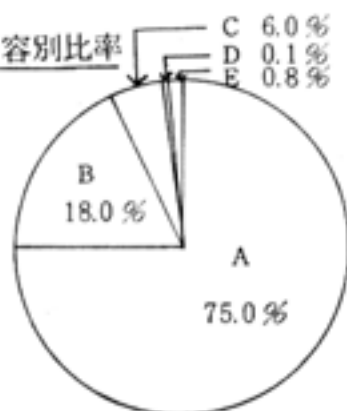
項 目	件 数	枚 数	金 額
学 内	1,757件	17,440枚	815,565円
学 外	2,172	73,788	3,992,884
計	3,929	91,228	4,808,449

6 レファレンス応答件数

区分	身分	教 官	院 生・学 生	図 書 室	事務職員	そ の 他	計
学 内	人 文・社 会 系	546 [226]	890 [1,003]	8 [14]	93 [166]	／	3880 (△96) [3,706]
	自 然 科 学 系 (研究所を含む)	1,012 [915]	1,121 [1,001]	114 [231]			
学 外		／	／	／	／	1,557 [1,324]	1,557 [1,324]
計		1,558 [1,141]	2,011 [2,004]	122 [245]	93 [166]	1,557 [1,324]	5,437 [5,030]

注：△印は教養部教官分で内数

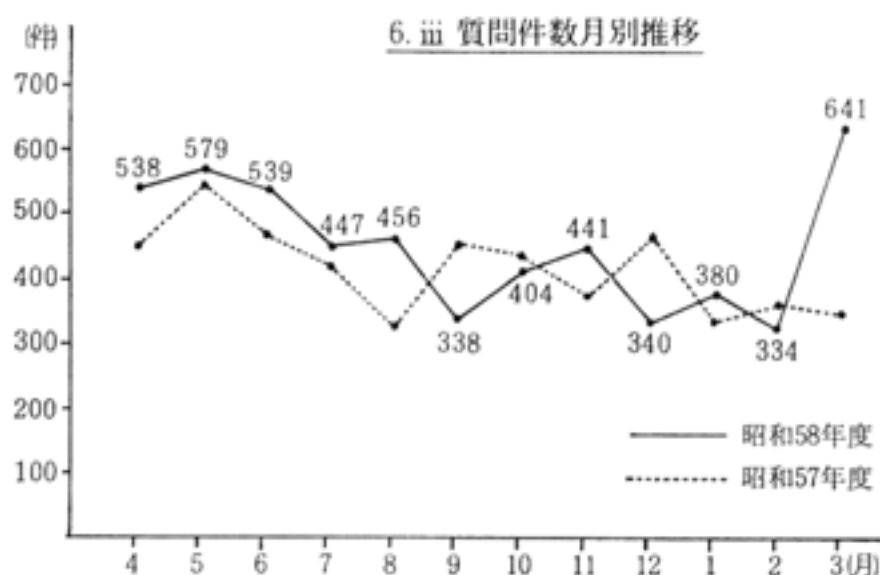
6. i 質問内容別比率



A：文献所在調査
B：書誌事項調査
C：利用案内
D：文献目録作成
E：機械検索

6. ii 質問手段別比率





昭和59年度第1回図書館職員総合研修会

8月22日、ミシガン大学アジア図書館館長補佐で、本学附属図書館調査研究室委嘱研究員でもある斎藤雅英氏を講師に迎え、「RLIN-CJKの現況について」と題し2時間にわたり御講演いただいた。本学図書系職員の外、近隣大学図書館の方々も加え約70名の参加者を得盛会であった。

アメリカにおけるアジア研究、とりわけ中国、日本、韓国等の東アジア研究者は第四世代に入り、その研究者人口の増加に伴い、アジア研究部門をもつ大学でのCJK(中、日、韓)各国語の図書の増加も著しく、したがってその図書館サービスも多様且つ高水準になって来ているが、図書館業務コンピュータ化の中で、CJK言語図書の書誌情報は依然ローマナイズのままであったため、同音異字の判別など様々の問題に直面していた。

この現状を打破するため、CJKのオリジナル文字による機械処理を目指し、1979年よりRLIN-CJK(Research Library Information Network-CJK)の開発に着手し、1983年9月よりLCを含

む主要大学29大学間で稼動している。

RLIN-CJKは、これ等数種の異なる文字に共通する字訓、すなわち文字の構成要素の端末機上での合成により入・出力を実現した極めて特色あるシステムであり、開発途上ではあるが完成度も高く、参加館の協同による改良が常時進められているという。

RLIN-CJKは、図書館員主導型でスタートしており、分担収集、分担目録を指向した協同事業であって、旺盛な研究活動を支える相互利用等を含むトータルな図書館サービスと、館員の研究開発努力を背景に成立していることに注目しなければならない。

御多忙な日程を本学図書館のためにお割き下さり、学術情報システムを目指す本学にとり、多大の示唆を与えていただいたことに対し深く感謝申し上げます。

(総合研修委員会)

昭和58年度参考図書購入報告

参考図書購入経費（文学部，教育学部，法学部，経済学部の四学部部間共通費，本学共通経費，本省事項指定参考図書費）によって下記の資料を購入いたしました。（※印は継続購入）なお，これらの資料は本館レファレンス・コーナーに備え付けておりますのでご利用ください。

A 所蔵目録

- ※1. 現行医学雑誌所在目録 1983年版
- 2. 国立国会図書館所蔵欧文雑誌目録 1982年末現在
- ※3. 帝國圖書館和漢圖書書名目録 2編，3編
- ※1. Bibliografia Nazionale Italiana. Vol.17, 24.
- ※2. British Library General Catalogue of Printed Books, 1976-1982. Vol.1-50.
- ※3. Cumulative Title Index to the Classified Collection of the Library of Congress Shelflist. Vol.1-23.

B 出版目録

- ※1. 日本書籍総目録 1983年版 書名編，索引編
- ※2. 出版年鑑 1983
- ※3. 雑誌新聞総かたろぐ 1983年版
- 4. 全集総合目録 1983年版
- 5. 全集叢書総覧 改訂版 明治初年—昭和56年
- ※1. American Book Publishing Record. 1982.
- ※2. Библиография Изданий Академий Наук СССР: Ежегодник. Том 24.
- ※3. Библиография Советской Библиографии. 1980.
1981.
- ※4. Books in Print. 1982-83.
1983-84.
- ※5. Books in Print: Supplement. 1982-83.
- ※6. Books in Series. 1876-1949. Vol.1-3.
- ※7. British Books in Print. 1983. Vol.1-2.
- ※8. Cumulative Book Index. 1977, 1979-1981.
- ※9. Deutsche Bibliographie: Fünfjahres-Verzeichnis. 1976-1980. Tl. I. Bd. 1-3.
Tl. II. Bd. 1-7.
- ※10. Deutsches Bücherverzeichnis. 1966-1970. Tl. I. Lfg. 22-38.
Tl. II. Lfg. 71-78.
1971-1973. Tl. I. Lfg. 14-24.
1974-1975. Tl. I. Lfg. 21-27.
- ※11. Ежегодник Книги СССР. 1979. Том 2.
1980. Том 1, 2.
- ※12. Guide to Microforms in Print: Author/Title. 1982.
- ※13. Guide to Microforms in Print: Subject. 1982.
- ※14. Guide to Reprints. 1983.
- ※15. Летопись Периодических и Продолжающихся Изданий. 1976-1977.
- ※16. Paperbound Books in Print. Spring 1983.
Fall 1983.

- ※17. Publisher's Trad List Annual. 1982. Vol. 1-5.
- ※18. Subject Guide to Books in Print. 1982/83.
1983/84.
- ※19. Ulrich's International Periodicals Directory. 22nd ed. Vol. 1-2.
- 20. United States Government Publications Catalogs.
- ※21. Verzeichnis Lieferbarer Bücher. 1982/83.

C 索引, 抄録, 書評

- ※1. 明治ニユース事典 第3-4巻
- ※2. 日本法令索引 1982年版
- ※3. 読売ニユース総覧 1982年版
- ※1. Bibliographic Index. 1977-1982.
- ※2. Index Bio-bibliographicus Notorum Hominum. Pars C. Vol. 27-29.
- ※3. Internationale Bibliographie der Rezensionen
Wissenschaftlicher Literatur. Vol. 12 (1982) Pars 2.
Vol. 13 (1983) Pars 1.

D その他の書誌, 書目

- ※1. 科学技術関係欧文会議録目録 3巻
- ※2. 近代文学研究叢書 第54-55巻
- 3. 日本女性史研究文献目録
- ※4. 日本史文献年鑑 Vol. 9.
- ※5. 20世紀文献要覧大系 11-13
- 6. 社会保障に関する27年間の雑誌文献目録
- ※7. 社会科学研究年報 第7号 (1983)
- ※8. 書評年報 1982 人文・社会・自然編
1982 文学・芸術・児童編
- ※1. Ayer Directory of Publications. 1982.
- ※2. Bibliographic Guide to Art and Architecture. 1982.
1983.
- ※3. Bibliographic Guide to Business & Economics. 1982.
- ※4. Bibliographic Guide to Conference Publications. 1982. Vol. 1-2.
- ※5. Bibliographic Guide to Government Publications-Foreign. 1982. Vol. 1-2.
- ※6. Bibliographic Guide to Government Publications-U. S. 1982. Vol. 1-2.
- ※7. Bibliographic Guide to Law. 1982. Vol. 1-3.
- ※8. Bibliographic Guide to Psychology. 1982.
- ※9. Bibliographic Guide to Technology. 1982. Vol. 1-2.
- ※10. Bibliographie des Auteurs Modernes de Langue Française. Tom. 18-22.
- ※11. British Government Publications: an Index to Chairman and Authors. Vol. 3.
- 12. Directory of British Official Publications.
- ※13. Guide to Reference Books. 9. ed. Supplement.
- ※14. International Bibliography of the Social Sciences-Anthropology. Vol. 26.
- ※15. International Bibliography of the Social Sciences-Economics. Vol. 29.
- ※16. Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur. Vol. 18 (1983)
Vol. 19 (1983)
- ※17. Neue Deutsche Biographie. Bd. 13.

18. Russia, the USSR, and Eastern Europe: a Bibliographic Guide to English Language Publications, 1975-1980.

※19. Walford's Guide to Reference Material. Vol. 2.

20. World Bibliography of International Documentation. Vol. 1-2.

E 地図・地名・人物・機関名鑑類

1. 茶道人名辞典
- ※2. 中国工商企業名録 1983年版
- ※3. 中国組織別人名簿 1984
- ※4. 外国会社年鑑 1984
5. 岩手会社年鑑 1984年版
6. 人物レファレンス事典 1-4 巻
7. 浄土宗仏家人名事典
- ※8. 角川日本地名大辞典 12巻
- ※9. 会社年鑑 上場会社版 1984
- ※10. 会社四季報 58年 1-4 集
- ※11. 会社職員録 全上場会社版 1984
非上場会社版 1983
- ※12. 会社総覧 1983
- ※13. 会社要覧 全上場会社版 1983
非上場会社版 1983
- ※14. 研究者・研究課題総覧 人文・社会科学編 補遺版
自然科学編 補遺版
15. みやぎ地図百科
- ※16. 日本分県地図地名総覧 昭和59年版
- ※17. 日本地名大辞典 8, 24, 27巻
- ※18. 日本人事録 1984年版
19. 日本の出版社 1984年版
- ※20. 日本の図書館 1983年版
- ※21. 日本歴史地名大系 14, 24巻
22. 来日西洋人名事典
23. 精選中国地名辞典
- ※24. 専門情報機関総覧 1982
- ※25. 職員録 昭和59年版
26. テレホンガイド東京
27. 東京23区50音別電話帳 企業名編
28. 東京23区職業別電話帳 産業編
- ※29. 東京都地図地名総覧 昭和59年版
- ※30. 全国学校総覧 昭和59年版
- ※31. 全国試験研究機関名鑑 1983-84
- ※32. 全国短大・高専職員録 1984年版
1. American Universities and Colleges. 12th ed.
2. A Bibliographical Dictionary of Artists.
3. Biographical Encyclopedia of Scientists. Vol. 1-2.
- ※4. Contemporary Authors. Vol. 107-109.
5. Deutsches Namenlexikon.

- ※6. Directory of American Scholars. 8th ed. Vol. 1-4.
- ※7. Dizionario Biografico degli Italiani. Vol. 26-27.
- ※8. Encyclopedia of Association. Vol. 1-3.
- 9. Historical Atlas of Britain.
- ※10. International Who's Who. 1983-1984.
- 11. London Publishers and Printers, c. 1800-1870.
- 12. National Faculty Directory. 1984. Vol. 1-3.
- 13. Research Institutions and Learned Societies.
- ※14. Wer ist Wer? Vol. 22.
- ※15. Who's Who. 1983.
- ※16. Who's Who in France. 1983-1984.
- 17. Who's Who in Library and Information Services.
- ※18. Willings Press Guide. 1983 ed.
- 19. World Guide to Higher Education. 2nd ed.
- ※20. The World of Learning. 33rd ed.

F 百科辞典

- ※1. Большая Советская Энциклопедия: Ежегодник. 1983.
- ※2. Enciclopedia Universal Ilustrada Europeo-Americana Suplemento. 1977-78.
1979-80.
- ※3. Encyclopaedia of Islam. New ed. Vol. 5. Fasc. 89-90.
- ※4. Encyclopedia of Library and Information Science. Vol. 34-35.
- ※5. Grand Dictionnaire Encyclopedique Larousse. Tom. 5-6.
- 6. Great Soviet Encyclopedia. Vol. 31.
- 7. Kodansha Encyclopedia of Japan. Vol. 1-9.

G 特定主題事典

- 1. 演劇百科大事典 全6巻
- 2. 現代社会学辞典
- 3. 原色牧野植物大図鑑 続編
- ※4. 医科学大事典 26-50巻
- 5. 印刷工学便覧
- 6. インタープレス科学技術活用大辞典 全2巻
- 7. インタープレス科学技術25万語大辞典
- 8. イスラーム辞典
- 9. 岩波生物学辞典 第3版
- 10. 人名よみかた辞典 姓の部, 名の部
- 11. 情報図書館学用語辞典
- 12. 科学史技術史事典
- ※13. 国史大辞典 4巻
- 14. コンピュータ頻出用語活用小辞典
- 15. コンピュータ専門図書情報事典
- ※16. 日本のシダ植物図鑑 1, 3巻
- 17. 日本植生便覧 改訂版
- 18. 農業用語大辞典
- ※19. 音楽大事典 5巻
- 20. 青少年問題用語小辞典
- 21. 世界人名地名表記辞典
- 22. 天文・宇宙の辞典 改訂版

23. 哲学中辞典

24. 哲学辞典

25. 図書館用語辞典

26. 図書・図書館用語集成

※1. Dictionnaire Historique du Japon. Fasc. I-III, V-VII.

※2. Enciclopedia Dantesca. Vol. 5.

3. Encyclopedia of Computer Science and Engineering. 2. ed.

※4. Enzyklopädie Philosophie und Wissenschaftstheorie. Bd. 1.

5. Guide for Writing Better Technical Papers.

6. Van Nostrand's Scientific Encyclopedia. 6. ed. Vol. 1-2.

H 語学辞典

1. 中国語発音字典

2. 英文用例事典 全3巻

3. 現代アラビア語小辞典

4. 現代朝鮮語辞典 改訂版

5. 現代中国語成語辞典

6. 現代和伊熟語大辞典

7. 伊和中辞典

8. 岩波日中辞典

9. 実用英語ハンドブック 新訂版

10. 広辞苑 3版

12. 広漢和辞典 中, 下, 索引

12. ポーランド語辞典

13. ローマ字英和和英辞典

14. ローマ字日本語 6週間

15. 最新フランス語大辞典

16. 西和辞典

17. 詳解日中辞典

18. スウェーデン語小辞典

1. Albanian-English and English-Albanian Dictionary.

2. All-Romanized English-Japanese Dictionary.

3. An Anglo-Saxon Dictionary.

4. An Anglo-Saxon Dictionary. Supplement.

5. Dictionary of the Language of Rennell and Bellona.

※6. Dictionnaire de la Langue Française du Seizième Siècle. Tom. 5-7.

7. Der Duden in 10 Bänden.

8. English-Kikuyu Dictionary.

9. Longman New Universal Dictionary.

※10. Middle English Dictionary. Pt. P. 1-P. 4.

11. The Oxford Dictionary of Modern Greek.

12. Oxford English Dictionary. Supplement. Vol. 3.

13. Svensk-Engelsk Ordbok.

14. Synonymisches Handwörterbuch der Deutschen Sprache.

15. A Tibetan-English Dictionary.

16. Woleaian-English Dictionary.

I 年鑑

※1. 朝日年鑑 1984

※2. ブリタニカ国際年鑑 1983年版

※3. 中国鉱工業企業総覧 1980年版

- ※4. 平凡社世界大百科年鑑 1983年版
- ※5. 時事年鑑 昭和59年
- ※6. 河北年鑑 昭和59年
- ※7. 韓国年鑑 1983
- ※8. 国語年鑑 昭和58年版
- ※9. 日本教育年鑑 1981年版
1982年版
1983年版
- ※10. 世界年鑑 1983年度版
- ※11. 図書館年鑑 1983年版
- ※12. 読売年鑑 1984年版
- ※1. The Europa Year Book. 1983. Vol. 1-2.
- ※2. Les Livres Disponibles. 1983. Vol. 1-3.
- ※3. The Statesman's Year-book. 120th ed. 1983-84.
- ※4. Whitaker's Almanack. 115th ed. 1983.
- ※5. The World Almanac and Book of Facts. 1983.

J その他

- 1. ダイアログ探索ガイド
- 2. 現代人のための情報源大百科
- ※3. 義太夫年表 近世編
- 4. イギリスの生活と文化事典
- ※5. 岩波六法全書 昭和59年版
- 6. 冠婚葬祭全集
- 7. 近代日本法律司法年表
- 8. 国家試験資格試験全書 1983
- 9. 考古遺跡遺物地名表
- ※10. マクミラン世界歴史統計 I-II
- 11. 日本標準商品分類
- 12. 日本気象総覧 全2巻
- 13. 日本年号大観
- 14. 日本の統計：市町村別統計総覧 全10巻
- 15. 日本標準職業分類
- 16. 農業事物起源集成
- 17. 欧文表記ハンドブック
- 18. 落款花押大辞典 上, 下
- ※19. 理科年表 昭和59年版
- 20. 新福島風土記 全3巻
- 21. 新岩手風土記 全3巻
- 22. 新山形風土記 全3巻
- 23. 職人歌合総合索引
- 24. 山形県大百科事典
- ※25. 有斐閣六法全書 昭和59年版
- 26. 図解冠婚葬祭と実用手紙百科
- 1. The British Library Reference Division Collections.
- ※2. MeSH Annotated Alphabetic List. 1983.
- ※3. MeSH Permuted. 1983.
- ※4. MeSH Tree Structures. 1983.
- 5. Microform Market Place, 1982-1983.
- 6. World Guide to Abbreviations of Organizations. 6th ed.

図書館業務機械化検討の状況 (5)

昭和59年 8月～10月

雑誌業務 WG: 第3回 (8/29) 雑誌サブシステムの移行計画について, 第4回 (9/21) ～第5回 (10/23) 雑誌のチェックインについて

受入業務 WG: 第3回 (9/19) 図書購入請求票について, 第4回 (10/19) 図書購入請求票について, 図書資料費決算書の項目について

目録業務 WG: 第3回 (9/10) 文献情報センターと本学システムとの通信ネットワークについて, 第4回 (10/15) 文献情報センターの目録システムについて

閲覧業務 WG: 第5回 (9/20)～第6回(10/18) 利用者コードについて

合同 WG: (8/24) 図書館における検索一目録業務 V S 利用者による情報検索一について, 文献

情報センターの目録システム—ファイル構造の概略—について

WG 連絡会: 第4回 (7/20) 図書館業務機械化開発専門委員会について, 第5回 (9/25) 各WGの検討状況の報告, 雑誌と図書の区分について, 第6回 (10/26) 各WGの検討状況の報告, 図書購入請求票について

図書館業務機械化に関する掛長等懇談会: 第8回 (9/26) 学内文献複写システムの整備 (文献複写業務の現況, 各館の学内文献複写についての実態報告) について, 第9回 (10/31) 各WGの検討状況報告, 文献情報センターとの接続について, 目録端末について

故木下彰元名誉教授旧蔵書 (木下文庫) の整理を開始

故木下彰 (1903～1982) 本学名誉教授 (経済学部) の旧蔵書は, さきに御遺族から本学に寄贈したいとの厚意ある申出があり, 加えて菅野俊作教授 (教養部) のご尽力により, 昨年本館に搬入, 受贈されたものである。

このコレクションは, 経済学関係はもちろんのこと, 農業政策, 農業経済, 農業経営, 農地改革, 土地行政, 山村経済等を中心とする基礎資料及び研究資料をはじめ, 小作制度, 名子制度, 東北の農業構造, 農業開発, 農業問題等の分野に関する研究論文並びに調査資料が収集されている。数量は, おおよそ単行本が和漢書 3,500 冊, 洋書 500 冊, 雑誌等 1,500冊, 合計5,500冊に及び, 中

に論文抜刷, 文書類, 会議資料なども含まれている。

これら膨大な資料を研究者の利用に供するために整理計画をたて, その所要経費は学内共通経費に計上しお願いしていたが, 3ヶ年の臨時事業として認められたので, このたび初年度の整理業務を開始したものである。

なお, このコレクションの整理にあたっては, 本学が従前から採っている方式, すなわち一般蔵書と区別して旧蔵者ごとの特殊文庫扱いとすることにしており, 当蔵書は『木下文庫』として一括排架される予定である。

第39回東北地区大学図書館協議会総会

標記の会議は9月27～28日の両日、岩手医科大学附属図書館が当番館となり、岩手県自治会館を会場に、加盟館41館から71名が出席して開催された。

協議に先立ち岩手医科大学小原学長の挨拶があり、次いで議長団の選出を行い、会務報告、一般報告、国公立各部会報告、昭和58年度決算報告、監査報告の後、次の協議題について討議が行われた。

1. 昭和59年度予算（案）について
2. 部会のあり方について
3. 記念事業について
4. いわき短期大学図書館の新規加盟について
5. 次期総会の開催について

1.は原案どおり承認、2、3について国公立各部会で協議した結果、現在の3部会を継続していくこととなった。来年度の総会は第40回にあたり、記念事業として、功労者の表彰、記念講演、

会誌記念号の刊行の案が出され、幹事会に一任することを了承した。4の新規加盟は福島大学からいわき短期大学図書館の紹介があり、承認された。5は宮城地区東北大学が当番館となり開催することになった。

国立部会では、学術情報センターシステムにむけての現況について協議した結果、下記のとおり了承した。

図書館業務機械化ネットワークの構築の緊急性にかんがみ図書館業務機械化開発専門委員会の積極的な取り組みが必要であり、そのために次の措置をとることとする。

- (1)東北大学、宮城教育大学、福島大学が中心となって機械化の具体案を検討する。
- (2)委員会の開催はその都度東北地区各国立大学に連絡する。
- (3)全館の出席を必要とする段階では、その旨を連絡し、全館が出席して協議する。

会 議 等

○図書館業務機械化懇談会（第6回）

と き：昭和59年5月28日

ところ：当館会議室

○東京大学文献情報センターシンポジウム

と き：昭和59年6月22日

ところ：京都大学

出席者：小野洋書目録掛長

○図書館業務機械化懇談会（第7回）

と き：昭和59年6月26日

ところ：当館会議室

○東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会図書館業務機械化開発専門委員会

と き：昭和59年7月23～24日

ところ：当館会議室

○大学図書館職員長期研修

と き：昭和59年7月30日～8月18日

ところ：図書館情報大学

受講者：医学分館運用掛 菊地房雄

○総合研修会

と き：昭和59年8月22日

ところ：当館視聴覚室

講演「ミシガン大学における図書館業務機械化について—RLIN-CJKの現況—」

講 師：ミシガン大学アジア図書館長補佐

斎藤雅英

指定図書について

昭和60年度の指定図書実施計画をたてるため、本年10月より各学部、教養部の講義担当教官にたいし、その指定方を依頼していましたが、この程リストの提出が終了しましたので現在それに基づき実施計画をたてています。これらの指定図書は、受入整理後直ちに本館・分館の閲覧室に配架され

利用に供されることとなりますが、講義担当教官が講義に直接関連する必読書として特に指定した図書ですので、大いに利用されることを願っています。

なお本館では、指定図書のリストを作成し、新年度の開講までに担当教官及び学生に配布する予定ですので、こちらの方も活用されるよう期待いたします。

お知らせ

年末年始及び年度末の休館・休室及び延長開館の予定は次のとおりです。

休館

- 1. 年末年始：昭和59年12月27日(木)から昭和60年1月4日(金)まで

休室

- 1. 12月下旬並びに3月下旬はそれぞれ数日間、配架整備のため開架閲覧室を閉室する予定です。日程は確定次第お知らせしますので館内掲示にご注意下さい。

い。

延長開館

平日20時、土曜日17時まで（開架閲覧室、カタログホール）

- 1. 昭和59年12月22日(土)まで
- 2. 昭和60年1月11日(金)～2月23日(土)まで

なお、教養部の定期試験時は自由閲覧室も開室予定ですが、期間については館内掲示でお知らせします。

人事異動

発令年月日	旧官職	氏名	新官職	備考
59. 8. 1	医学分館事務補佐員	高瀬しのぶ		辞職
9. 1	大型計算機センター事務補佐員	香川富士子	医学分館事務補佐員	配置換
"	総務課事務補佐員	斎藤淳子	閲覧課事務補佐員	配置換
"		島田幸子	" "	採用
10. 1		四倉早苗	総務課 "	"
10. 31	閲覧課事務補佐員	阿部典子		辞職